



りゅうおう

議会だより

No.190

2020年2月1日
滋賀県竜王町議会

なが
楽しむ気持

定例会報告 P2~ 歳入は前年度より大幅減

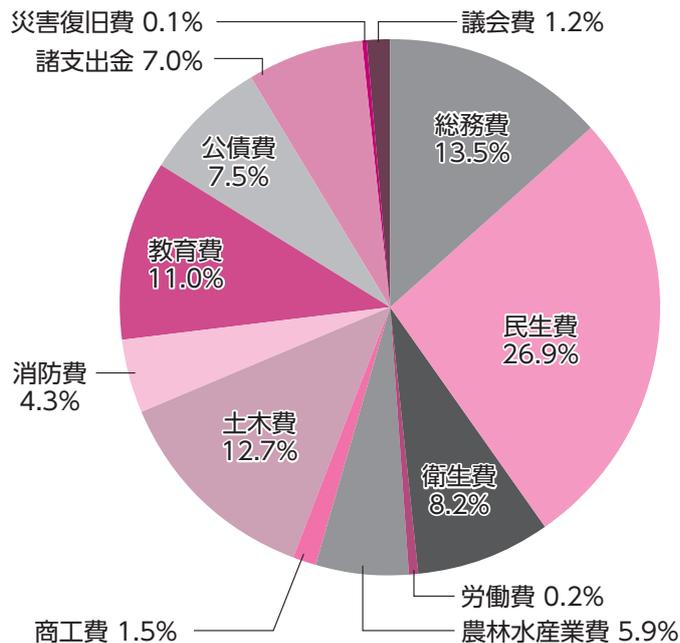
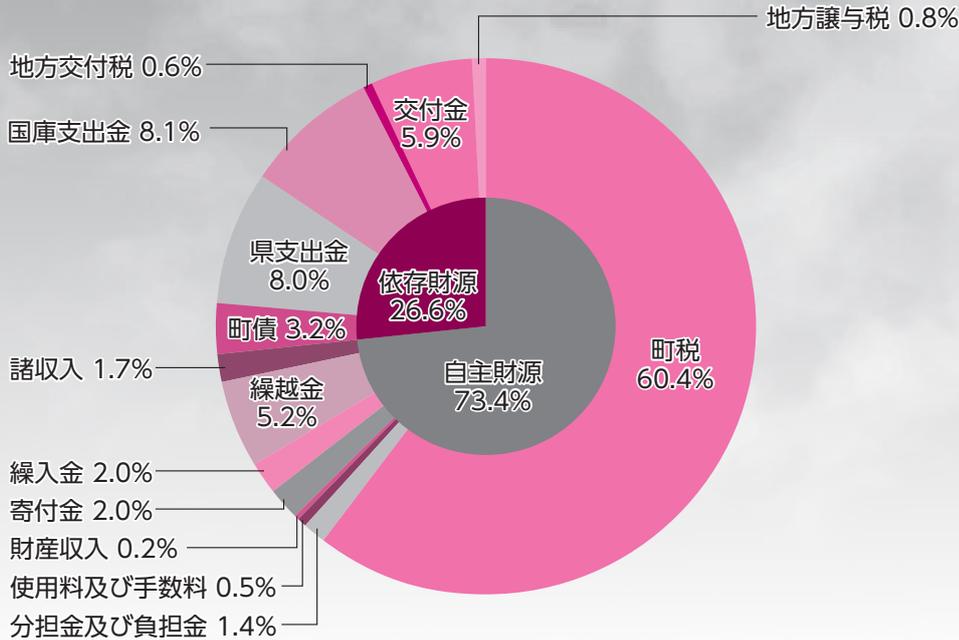
委員会報告 P6~ 竜王小学校の今後は

一般質問 P9~ どうなる公共交通

傍聴案内 P19 議会の傍聴って？

シリーズ P20 私たちONE TEAM

歳入合計 61億5665万円

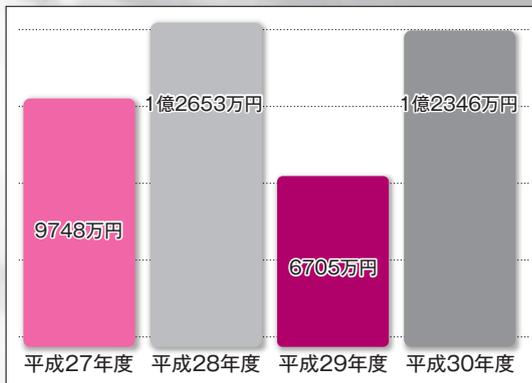
30年度
決算一般会計
前年度より歳入は12
億円の減

歳出合計 59億5731万円

12月定例会は12月3日から25日までの23日間開催し、条例関係9件、一般・特別会計補正予算6件、決算認定6件、その他1件の計22議案を審議しました。

30年度の決算審査では、5つの特別会計を含む約84億円の決算を認定しました。そのうち一般会計は59億5731万円（前年比15.5%減）で、4年ぶりに国の普通交付税の不交付団体となりました。自主財源比率は73.4%で5.6ポイント上昇しました。

ふるさと納税の寄附額は？



竜王町のふるさと納税では、1万円以上を寄附された方に近江牛などの特産品を謝礼品としてお贈りしています。

平成30年度は、過去最高を記録した28年度とほぼ同額の1億2346万円の寄附をいただきました。



ふるさと納税謝礼品のカタログ等

このような事業が行われました

道路橋梁整備事業 1億2048万円
町道殿山線（山之上）の改築工事、竜王大橋（小口）、山中橋（山中）の長寿命化工事等を実施しました。

町内バス路線への助成 2212万円
生活路線である八幡竜王線・岡屋線について、運営する近江鉄道（株）に対して業務委託と助成を行いました。

特産品発信事業 2392万円
近江牛を中心として、歴史、文化などの地域資源をPRする「竜王スキヤキプロジェクト」を実施しました。

八日市布引ライフ組合（斎苑）負担金 6955万円
今年度12月に竣工した布引斎苑の運営と新設にかかる負担金を支出しました。

監査委員の意見

決算内容については、ほぼ適正に運営されました。一般会計の町債残高は46億円で金額の推移には十分留意する必要があります。今年度の農村下水道使用料の徴収問題等、規則に沿った事務処理がなされていない事例もあり、正しい事務処理が行われる取組を期待します。

平成30年度決算をチェック!!

マイナンバーカードの申請手を補助

問 マイナンバーカードの交付状況や取得促進は。

答 令和元年12月8日現在で交付申請されている方は12.28%である。住民課窓口で写真の無料撮影を行い、申請手続きの補助を実施している。



窓口での写真撮影の様子

子育て支援ニーズ調査の反映は？

問 保護者に実施されたニーズ調査はどのように活かされるのか。

答 ニーズ調査は幼稚園、保育園、こども園についてが大きなテーマとなっており、その結果は現在策定中の子ども子育て支援事業計画に盛り込む予定である。

通学バス代は据え置き

問 通学バスの委託料が増額になった理由は。

答 国の基準よりも安い金額で委託契約を結んでいたが、制度改正による料金の見直しで委託料が増加傾向にある。

問 保護者の利用負担は大きくなるのか。

答 利用料金の割合は委託料全体の1割に満たない状況で、多少の値上げでは効果が少ない。今後の推移を見ながら、今のところは月額1200円を続けていきたい。一定の負担は必要と考えるが、単に負担を増やすのではなく、町として責任を持って今後の対応を考えていきたい。



町内を走るスクールバス

空き家対策

問 竜王町空家等対策計画を策定したが、今年度の具体的な内容は。

答 アクションプログラムと特定空家等認定基準の作成にとりかかる。

令和元年度12月補正予算をチェック!!

主な予算の内容

公民館別館解体工事 1064万円

公民館別館の跡地は駐車場として整備される予定。

問 解体工事のスケジュールは。

答 年度内に完了する予定である。



公民館別館（青年団団室）

福祉医療扶助費 352万円

医療費無償化を実施している小中学生通院分の医療費が増加したため。

役場窓口カウンター工事 29万円

役場のカウンターに利用者のプライバシーに配慮した衝立（ついたて）が設置される。



衝立が設置されるカウンター

一般会計の12月補正額の推移

12月補正額は4151万円で過去3年間と比べ低く推移しています。

令和元年	4151万円
平成30年	1億753万円
平成29年	1億2270万円
平成28年	2億8387万円

竜王小学校整備基本構想策定業務委託料 316万円

問 基本構想では何を策定するのか。

答 小学校整備の理念や基本目標、主な施設規模の想定、校舎やグラウンド等の配置を考えたい。また、スクールバスの動線についても、中心核整備のイメージと連動させて考えたい。



老朽化が進む竜王小学校

翌年度へ繰越となった事業

アグリパーク竜王直売所の増築工事 総工事費 1億2457万円

問 増築工事が延期となっている理由は。

答 東京オリンピック等による建築需要の高まりで、資材の調達が困難な状況であるため。

教育民生常任委員会

調査 竜王小学校整備計画の経過と今後

竜王小学校は築48年が経過しており老朽化が進行している。

整備の基本的な考え方

- 長寿命化改修ではなく建て替えとする。
- 竜王西小学校との統合は考えない。
- 防災、コミュニティ等の機能を併せ持つ複合施設とする。
- 敷地拡大に制限があるため新しい場所で建築する。
- 場所はタウンセンターエリアを前提とする。

主な質疑応答

- 問** 現時点での概算費用は。
- 答** 造成や用地取得の経費を除き、約30億円。
- 問** 竜王小学校と西小学校を統合しない理由は。
- 答** 今後の推移をみても西小学校は単独校として成り立たない程の児童数の減少にはなく、また北西部地域の防災拠点等であるため。

今後の整備予定

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
基本構想		→				
耐力度調査		→	→			
基本計画		→	→	→		
基本設計・実施設計			→	→	→	
建築工事					→	→

調査 英語教育のこれまでの取組と今後の展望

これまでの成果と課題

成果

幼稚園からの英語学習の積み上げにより「聞くこと」・「話すこと」の確かな力がついている。

課題

生活環境の中で、英語を必要とする場面がないため、真に役立つ英語を身につけたい、学びたいという意欲が十分に育っていない。

今後の展望

「これぞ竜王の英語教育」の実現に向け、幼小中と積みあがっていく一貫した系統的英語教育の実施、英語を身近に感じる機会の充実等に努めていく。

主な質疑応答

- 問** 英語が得意な地域の人の力を生かす取組はできないか。
- 答** 英語を使って仕事をしている方々に、出前授業で英語の魅力を伝えてもらいたい。キャリア教育の視点からも本物に出会い、自分の将来を考える学習の場にもなると考える。



幼稚園での英語教育の様子

総務産業建設常任委員会

調査 地域防災計画見直し(中間報告)

1 見直し理由

- 平成26年3月に作成した現計画が5年経過したため。
- 社会情勢等の変化を踏まえ実情に沿ったものとするため。



平成29年台風21号による冠水(弓削地先)

2 主な修正内容

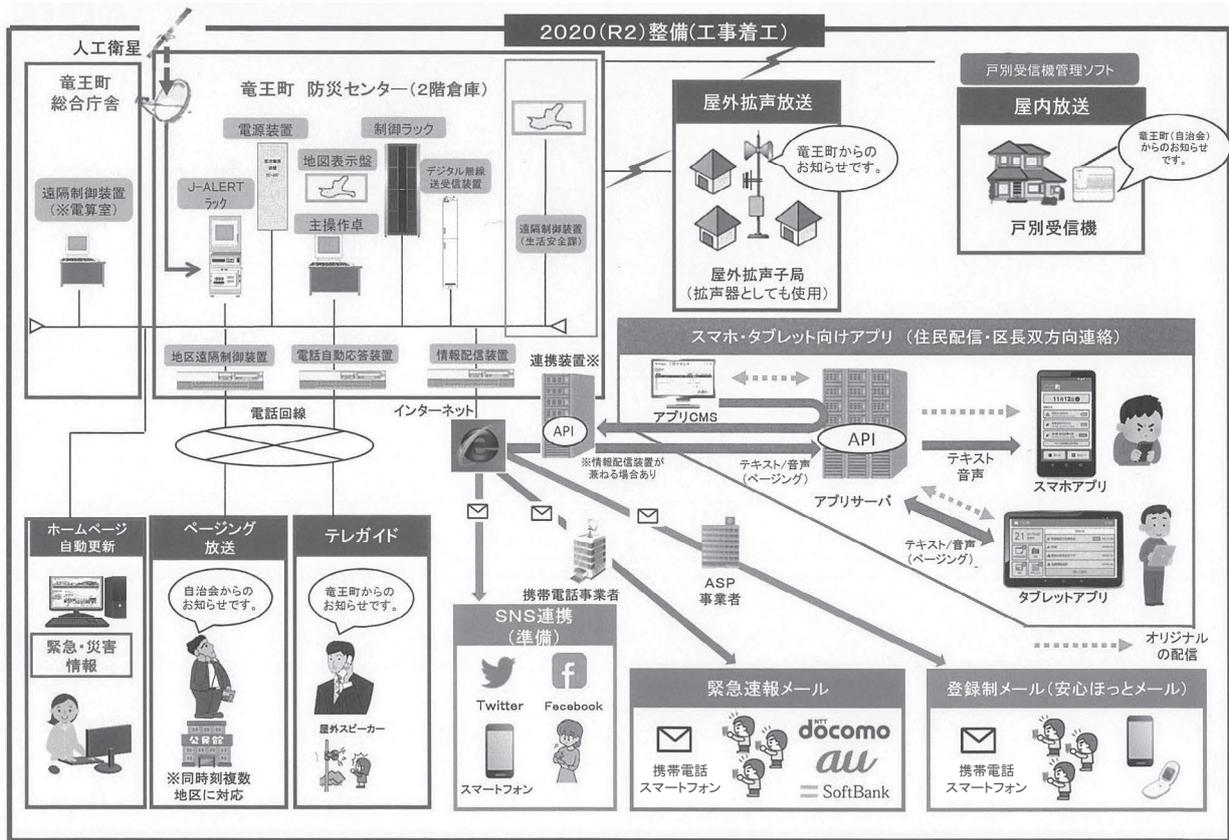
- 竜王町防災行政情報システム整備の追記。
- 避難場所の選定基準、名称の修正。
- 要配慮者利用施設一覧の修正。
- 警戒レベルと避難勧告等の発令基準の修正。

主な質疑応答

問 竜巻に対する避難はどうか。

答 基本は屋内避難であり、雨戸を閉める等の対応をしていただく。

竜王町防災行政情報システム構成図



付託

- 竜王町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

全員賛成で可決

地域活性化特別委員会

調査

コンパクトシティ化構想(案)とグランドデザイン構想(案)の経過と今後は

- 平成28年度** まちづくりフォーラムを開催し、中長期的な構想として拠点整備を掲げる。
- 平成29年度** 庁内プロジェクトチームの設置。
- 平成30年度** コンパクトシティ化検討町民ワーキング・懇話会を開催。竜王小学校の建て替えを含む、交流・文教ゾーンの整備をリーディングプロジェクトと位置づける。
- 令和元年度** これまでの検討結果を踏まえたコンパクトシティ化構想(案)、グランドデザイン構想(案)についての「まちづくり意見交換会」を開催。

主な質疑応答

- 問** 各計画の整備スケジュールに併せて財政シミュレーションも示されるのか。
- 答** 町の財政負担、国・県の補助制度、工業団地進出企業による税収等も考慮して示したい。



交流・文教ゾーンの整備イメージ

広域行政

八日市布引ライフ組合※

布引斎苑施設整備事業が完了

令和元年12月に駐車場が整備され、全体の整備事業が完了したことから12月18日に完成式典が行われた。

【施設の概要】

- 敷地面積 8,376.34㎡
- 火葬炉 6 炉
- 総事業費 15億4980万円

※八日市布引ライフ組合は、東近江市・竜王町・日野町の3市町で構成され、火葬業務やし尿処理などを共同で行うために設置されている。



施設の全景

町政 ここを問う!

12月定例会では11議員が
21問の一般質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
10	森島芳男議員	災害等による避難の対応は
		通学路の安全のための街灯を
11	貴多正幸議員	国道8号鏡口交差点の改良は
		人事評価制度と職員のモチベーションは
12	岡山富男議員	岡屋交差点からの歩道整備は
	中村匡希議員	防災アプリの情報発信のあり方は
13	尾川幸左衛門議員	水道料金見直しの検討は
		農村下水道使用料と下水道使用料の違いは
14	福田優三議員	竜王小学校整備計画に住民等の意見反映は
		公共施設のトイレ設備の状況は
15	鎌田勝治議員	公共交通整備の現状は
		各地域のコミュニティづくりを支援する仕組みづくりを
16	磯部俊男議員	教育施設等の今後の考え方は
		国民健康保険診療所（医科）整備の進捗は
17	橋せつ子議員	幼児期の給食費の無償化は
		保育園の待機児童の解消は
		地域交通政策の充実と住民参加は※
		地域防災計画の進捗状況は※
18	澤田満夫議員	滋賀竜王工業団地北側の保安林の活用は
		令和2年の町長選挙出馬は
19	大前セツ子議員	人口増加につなげる取組は

※紙面の都合上、掲載しておりません。

一般質問って？

町の行政全般について
議員が疑問点や見解などを
尋ねたりするもので、
毎定例会で行われるよ



近江うし丸



森島 芳男 議員

問 災害等による避難の対応は

答 災害に強いまちづくりに取り組む



平成29年台風21号による冠水の様子
(弓削地先)

問 日野川や祖父川が決壊となれば、家屋が浸水するといわれているが、避難対応の実施について次の3点について伺う。

答 ページへの掲載により周知啓発を行った。発災後の避難ではなく、発災前の避難を心がけるよう、引き続き周知啓発を行う。

問 ① 避難する事の重要性を周知徹底しているか。

答 ① 竜王町地域防災計画において、浸水害における避難者数を3056人と想定している。避難所の面積は対象地区の避難者を収容できる想定となっている。

問 ② 多数の避難者が横になる場所等の確保はできているか。

答 ② 竜王町地域防災計画において、浸水害における避難者数を3056人と想定している。避難所の面積は対象地区の避難者を収容できる想定となっている。

問 ③ 避難所までの道路が通行できない場合の対応は。

答 ③ 状態を把握次第、住民周知を行い、他の避難所への誘導や他の町内の公共施設の利用等により避難対応する。

問 通学路の安全のための街灯を

答 通学路全体の再点検を行う

問 町道山之上弓削線の通学路で川上から岩井名神下のトンネルまで、街灯が1本もない。例えば、午後4時30分頃に下校したとしても、冬期はすぐ暗くなり、交通安全においても、防犯的にも危険を伴うと考える。町として早急に街灯を設置すべきではないか見解を伺う。

答 街灯については、道路照明灯として、交通安全および防犯を主な目的とし、約1000灯設置している。

この区間をはじめ町内通学路全体の再点検を行い、交通安全や防犯上の観点から危険な場所について、



道路照明灯が設置されていない通学路



貴多 正幸 議員

問 国道8号鏡口交差点の改良は

答 引き続き要望していく



右折待ちで渋滞になる鏡口交差点

答 平成28年度に交差点周辺の交通安全対策につ

問 国道8号の鏡口交差点を美松台方面へ右折する際、1.5車線化になつてはいるが、正式な右折溜まりはなく、非常に渋滞している。また、夜間には当交差点手前のゼブラゾーンを通過して右折する車もあり、非常に危険であるが、町はどのような対応をしているのか。

いて、近畿地方整備局滋賀国道事務所へ要望を行い、翌年度に近畿地方整備局、国土交通省へ国道8号の抜本的な渋滞対策について要望を行った。また、ゼブラ帯の危険性についても短期的な視点に立ち、道路管理者に対し応急対応も含め、安全対策の協議をするともに、鏡口交差点が誰もが安全に通行できるように引き続き要望していく。

答 人事評価を行うなかで、本人と上司が面談することで業務を確認し、仕事の振り返りも着実に行われ、さらに業務の進捗状況が可視化されていることから、一定機能していると考え。人事評価と併せて人事ヒアリング、自己申告制度等により職場または職員の業務上の支障等を把握し、その解消に努めている。

問 今年度においても年度途中に若手職員が退職し、病休の職員も何名かいると聞かすが、現在の人事評価制度はうまく機能しているのか。また、職員の仕事へのモチベーション向上のためにどのようなつながつているのか。

問 人事評価制度と職員のモチベーションは

答 制度のより一層の充実を図る

今後も職員の能力およびモチベーションを最大化していくためにも人事評価制度の一層の充実を図り、良好な職場環境の構築に向けた取組を進めることを念頭に組織力の向上に努める。



職員の人事評価制度研修

問 岡屋交差点からの歩道整備は

答 整備促進に向け県に働きかける



岡山 富男 議員



一部歩道のない国道477号

問 国道477号岡屋交差点から滋賀電王工業団地までの一部歩道ができていない箇所があるが、現在の進捗状況は。また、交通量も多く、街灯もないため危険な状態であるが町の考えは。

答 交付金事業の計画期間である平成29年度までに計画延長の1200mについて工事を完了する予定であったが地権者の所在が不明の土地があり、

現在も約100m区間において歩道が未整備の状態である。
関係地権者の所在については、住民票の保存年限等により、地権者の住所にたどりつけていないが、当歩道は歩行者の安全確保のうえで重要なものと認識しており、引き続き県に働きかけていく。
街灯については、今後の歩行者の状況を見極めながら検討していく。

問 防災アプリの情報発信のあり方は

答 内容を精査し発信していく



中村 匡希 議員

答 滋賀県土木情報システムはインターネットで公開されているため、アプリを経由して確認できる。

問 有線放送の廃止に伴い来年度導入されるスマートフォン用の防災アプリでは、滋賀県土木情報システムの河川水位や東近江行政組合の出勤状況、J-ALERT（全国瞬時警報システム）の気象注意報といった情報も受信することはできるか。

東近江行政組合が配信する消防情報の内容はアプリで確認可能だが、配信内容については今後検討していきたい。
J-ALERTが受信した気象情報は直接、防災アプリに配信される。防災、防犯、交通、消防など様々な情報がインターネットなどで配信されており、アプリの配信内容が情報過多とならないよう精査し、使いやすい情報伝達ツールとなるよう検討していく。



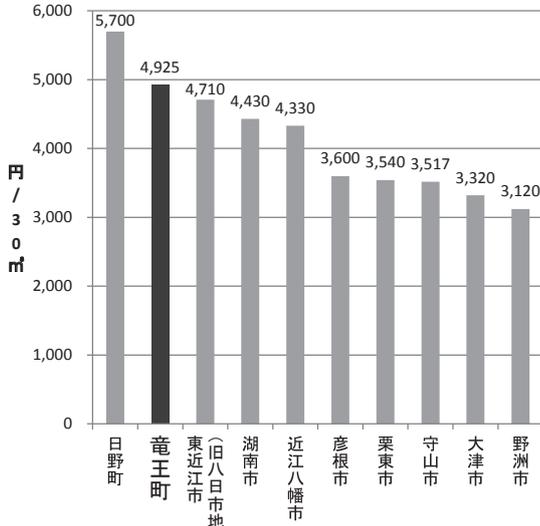
防災アプリのイメージ図



尾川 幸左衛門 議員

問 水道料金見直しの検討は

答 先進的な事例等で研究する



近傍水道料金図 (口径13mm 30m³/月)

① 平成9年度に料金改定を行い、従量料金を25%から35%改定し現

在に至っている。水道事業経営の安定を図るためには、諸課題等を整理する中での研究は大切であると認識している。

② 料金設定の経過は。① 県水の受水料金見直しによる水道料金改定の検討は。

② 料金設定の経過は。① 県水の受水料金見直しによる水道料金改定の検討は。

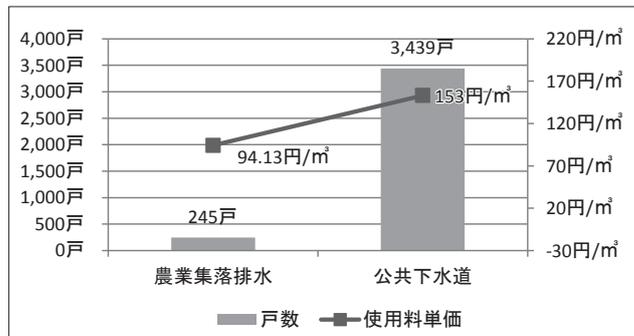
② 料金設定の経過は。① 県水の受水料金見直しによる水道料金改定の検討は。

② 料金設定の経過は。① 県水の受水料金見直しによる水道料金改定の検討は。

問 農村下水道使用料と下水道使用料の違いは

答 使用料算定のあり方について研究を進める

① 本町の下水道は、公共下水道が3439戸(93%)、農業集落排水(農村下水道)が245戸(7%)であるが、使用料単価は公共下水道が153円/m³、農業集落排水が94.13円/m³と大きく違う経過と理由は、また、同一単価にして公共下水道の使用料を下げる検討を行うのか。



本町の下水道の規模・使用料単価

② 農村下水道は浄化槽法に基づき、生活排水を処理し、人数算定による料金体系である一方、公共下水道は下水道法に基づき、生活排水や工場排水等も処理し、水道使用量等により算定する料金体系となっている。使用

料に差があるのは施設の維持管理に係る経費が異なり、また人数による固定単価による算出と排出された量に応じて算定するため違っている。これらの使用料を同水

準へとの意見もある中で、持続可能な下水道事業の経営も考慮しつつ今後の使用料算定のあり方について引き続き研究を進めていきたい。

問 竜王小学校整備計画に 住民等の意見反映は

答 基本計画策定段階で反映する



福田 優三 議員



整備が待たれる教育施設

問 竜王小学校整備計画に伴い、これまで竜王小学校コミュニティスクールが検討してきた内容や、現場の教諭、児童、保護者の意見などが整備計画にどう反映されるか伺う。

答 平成30年2月に開催された第3回竜王町教育施設の今後のあり方検討委員会においてコミュニティ・スクール竜王小学校に設置されている学校運営協議会から学校教育

施設に求められる機能について提案していただき、これらの意見を踏まえた上で報告書も取りまとめられている。

竜王小学校整備基本構想を今年度内に策定し、次年度以降、この基本構想をもとに基本計画の策定や基本設計へと進めていきたい。この基本計画、基本設計策定段階では適宜、学校運営協議会や現場の先生方、児童、保護者、地域の皆さんの意見を聞きながら進める。

問 公共施設のトイレ設備の状況は 答 状況を判断し洋式化を進める

問 本町の公共施設は、災害時に避難所に指定されている施設もあるが、トイレ設備について次の2点を伺う。

① 公共施設のトイレの和式、洋式の設置状況は。
② 改修工事等の対策について町の考えは。

な判断のもと、改修時期を考慮のうえ必要な対応をしていきたい。

答

① 現在、35施設で和式トイレは176基、洋式トイレは243基設置されており、すべての施設に洋式トイレが必ず1基以上は設置されている。

② トイレの洋式化については更に進めていく必要があると認識している。各公共施設においては給排水管や電気設備等の老朽化により修繕・改修を必要とする施設もある。総合的



未改修の和式トイレ（役場庁舎3階）

問 教育施設等の今後の考え方は

答 竜王小学校の2025年の開校を目指し
鋭意進める



磯部 俊男 議員



築48年となる竜王小学校

問 本町の教育施設等の今後の考え方について次の2点を伺う。
① 2025年開校に向けた進捗状況は。
② 10年後の教育施設の課題は。

答 ① 今年度中に竜王小学校整備基本構想の策定、次年度以降に基本計画、

基本設計、実施設計、建築工事と進め、2025年の開校を目指す。② 各教育施設は老朽化が進んでおり、施設機能が社会環境の変化、住民ニーズの多様化に添えていけるかという課題もある。町財政計画を踏まえての判断が必要と考える。

問 国民健康保険診療所（医科） 整備の進捗は

答 令和3年4月の開所予定で計画を進める

問 竜王町国民健康保険診療所（医科）が現有地近隣で、新たな施設として整備が決定されたが、現在の進捗状況を伺う。

答 整備計画は令和元年度に基本設計、実施設計および土地取得。令和2年度に造成工事および建設工事を行い、令和3年4月の開所を予定している。



新たに整備される竜王町国民健康保険診療所（医科）



橘 せつ子 議員

問 幼児期の給食費の無償化は

答 町独自の助成は考えていない



バイキング給食の様子（コスモス保育園）

問 幼児教育・保育の保育料の無償化に伴い、保育園の給食費（副食費）が実費払いになつたが、子ども達の健康と発達保障、また子育て支援の充実という観点からも、町の助成で幼児期の子どもの給食費を無償化できないか。

答 幼児教育・保育の無償化により3歳から5歳までの保育料だけでなく一定所得以下の家庭にお

いては副食費も新たに無償となつている。一定所得以上で副食費が無償とならない家庭も無償化で新たな負担が発生したということではないので、現在は町独自の助成は考えていない。次年度の対象園児数は現在入所調整中であるので、今年度対象園児数で試算すると、幼稚園163人で給食費500万円余り、保育園220人で1400万円余り、認可外保育園13人で70万円余り、合計2000万円余りの経費となる。

問 保育園の待機児童の解消は

答 待機児童が出ないように努める

問 10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、来年度募集では保育園に入園希望が多く、このままでは待機児童が出る状況と聞いている。

現時点での来年度の入園申込者数（幼稚園及び保育園の各園・年齢別）と、どのくらいの待機児童数が出るのか伺う。

また待機児童が出た場合、どのような対策を考えているのか伺う。

答 竜王町保育所入所検討委員会で入所の調整を行っており、1月下旬から2月上旬頃の決定結果により待機児童が出るかわかる。事前に保護者の方と教育委員会、保育園、幼稚園が十分に連携をとり待機児童が出ないように努めている。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
竜王幼稚園				15	26	33	74
竜王西幼稚園				16	19	18	53
ひまわり保育園	17	21	27	37	28	25	155
コスモス保育園	11	18	15	21	13	25	103

来年度入園申込者数（令和元年12月現在）

また対策として、来年度から幼稚園において3歳児の保育時間を延長することや夏休み等の長期休業中も預かり保育等に対応する予定で準備を進めていく。今後とも預かり保育の拡充を最終形とするだけでなく、教育・保育の充実と保護者の方のニーズに応えられるよう努めていく。

問 滋賀竜王工業団地北側の 保安林の活用は

答 有効活用に向け県に要望する



澤田 満夫 議員



滋賀竜王工業団地北側の保安林

問 滋賀竜王工業団地の北側の残地27万㎡の保安林は、過去に滋賀県土地開発公社から遊歩道を造り散策ができるような場所にと漠然とした話があった。しかし工業団地エリア70haに対し、分譲面積が30.9haでは有効利用と言えないのではないかと。

答 工業団地は、昭和48年に土地開発公社の用地取得から始まり、平成30年度に完成した。造成に当たっては、市街化区域

の編入が必要なため、県に都市計画区域区分の見直しを依頼した。当初は70ha全域を市街化区域への編入を目指して関係機関と協議してきたが、保安林については一部認められたが、一団となる箇所については認められなかった。

現時点で県は、新たな開発は困難な状況と考えているが、有効活用を見いだせないか課題としても認識している。本町でも調査と、県に働き掛けをしていく。

問 令和2年の町長選挙出馬は 引き続き町政を担いたい

問 西田町長は、令和2年に執行される町長選挙の出馬について、どの様に考えているのか。

答 私は、長年の県外勤務から故郷に戻り、人口減少や、河川の安心安全の確保等の課題を目の当りにし、明るく元気で活力あふれる強い町、次世代に誇れる町の実現に向けて平成28年、町長に就任した。

以来、政策の柱を「活力」と「安全」に分け、それぞれの取組に期限を定め実行してきた。中学校卒業までの医療費無償化、教育面の充実、企業誘致、町有地の有効活用、道の駅の拡充、日野川改修計画の策定、健康ベジ7（セブン）チャレンジの取組、近江牛発祥地とスキヤキを愛する町の宣言、県内外へ特産品の情報発信等。

一方で国道8号のバイパス化と10年後の農業のあり方、コンパクトシティ化と30年後のグラ

ンドデザインの両構想（案）は、道半ばである。皆様のご支持を頂ければ、引き続き町政を担い、当初目標の実現に道筋を付けていきたい。

以来、政策の柱を「活力」と「安全」に分け、それぞれの取組に期限を定め実行してきた。中学校卒業までの医療費無償化、教育面の充実、企業誘致、町有地の有効活用、道の駅の拡充、日野川改修計画の策定、健康ベジ7（セブン）チャレンジの取組、近江牛発祥地とスキヤキを愛する町の宣言、県内外へ特産品の情報発信等。



西田町長答弁



大前 セツ子 議員

問 人口増加につなげる取組は

答 安心して子育てができるよう努める

① 住宅整備は町の活力を維持するためにも重要である。市街化調整区域が大多数を占める中、難しい状況であるが、町有地をはじめ

② 医療費無償化に加え、魅力ある子育て支援は。



赤ちゃんを囲み誕生を喜び様子

② 妊娠期から、竜王版ネウボラに取り組んでいる。出産後は新生児訪問前に保育士がオムツを持って訪問し、子育てに関する相談を受け、親子で参加できる「赤ちゃんサロン」へお誘いしている。今後は産後ケア事業や託児サービスなどで安心してゆとりを持って子育て出来るよう努める。

ぼうちょう 議会の傍聴に来ませんか？

議会では、住民生活に密着した重要な問題が審議されています。簡単な手続きで傍聴することができますので、お気軽にお越しください。(介助が必要な方は議会事務局へお声掛けください。)

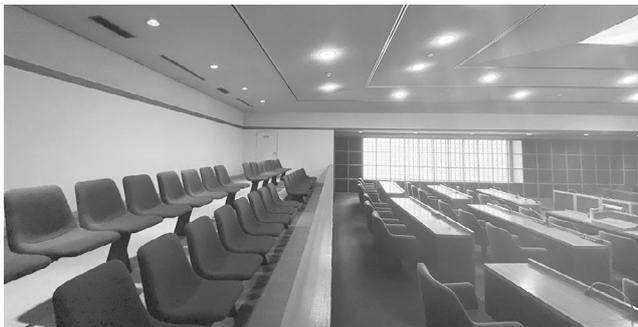
※小学生以下のお子さんは、傍聴席に入ることができません。ただし、議長の許可を受けた場合は、この限りではありません。

議会ではどんな政策が審議されているの？

自分の選んだ議員はどんな活動をしているの？

次回の一般質問は
令和2年3月23日(月)
午前9時からの予定

議員の質問順は町ホームページでご確認ください。



議会傍聴席 (役場庁舎3階)



傍聴席横で受付票に氏名等を記入いただけます

問 議会事務局 電話 0748-58-3713

シリーズ

ワンチーム 私たち ONE TEAM

CREW R.S. 竜王町青年団
No.01 団長 西村 悠哉 さん

大切な仲間とともに

私は10年前、高校1年生の時に竜王町青年団に入団しました。たくさんの仲間と出会い、たくさん笑い、たくさん悔しい思いもしました。青年団でしかできない経験も多かったと思います。そんな竜王町青年団は数年前存続の危機に瀕しました。しかし「青年団を無くしたくない」、「青年団を続けたい」そんな思いを持った団員が一丸となり、竜王町青年団は大きく形を変え新たなスタートを切りました。そして今年度、「町民の皆さんにもう一度竜王町の良さを知ってもらいたい」、「仲間との絆を深めてほしい」そんな思いから令和2年3月8日（日）に「第1回ドラゴン駅伝大会」を開催します。私たち団員一同町民の皆さんに楽しんでもらえる



前列左から4番目が西村団長

よう日々準備をしています。参加者もまだまだ募集中です！仲間と一緒に竜王町を駆け抜けましょう！また当日ランナーへの温かい声援もお待ちしております！

編集後記

第17期の竜王町議会が始まり、新議員も増え、議会広報においても新体制がスタートしました。これまでシリーズで町民の皆さまを取材してきた「いきいき人生」は、今後は「私たち ONE TEAM」として竜王町を拠点に活動をされているグループを紹介していきます。個人から団体へと、より裾野を広げていく中で多くの方々の日々の奮闘を伝えていきます。

これからも、竜王町で課題となっている公共交通の仕組みづくり、新しい政策であるコンパクトシティ化構想（案）など、地域を大きく変化させる提案を議員一同で審議していきます。議会だよりにおいては、町政のいまを分かりやすく住民の皆さまへ届けていくよう努めて参ります。議会だよりは年4回発行とお手にとっていただく機会は少ないですが、「いつも読むよ」、「がんばって」という皆さまのお言葉に励まされています。改めて御礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をよろしく申し上げます。

中村 記



議会広報特別委員会

- 委員長 中村 匡希
- 副委員長 大前セツ子
- 委員 福田 優三
- 委員 橘 せつ子
- 委員 岡山 富男
- 委員 小西 久次